

論文原稿執筆要領(CFP 版)

日本経営倫理学会
学会誌編集・論文審査委員会

1、原稿執筆要

学会誌に掲載された論文の著作権は日本経営倫理学会に帰属します
原稿は下記の要領によりご作成ください。

(1) 形式および字数制限

- ①原稿は横書きで16,000字以内とし、出力原稿4部およびデータの両方を提出する。その際、使用ソフト名を明記する。(ワードを原則とする)
- ②上記枚数には図および表を含む。

(2) 論文タイトルおよび執筆者名

- ①論文とは別に別途表紙をつけて、その表紙に「論文タイトル」および執筆者の所属と氏名を和文と英文の両方で記載する。
- ②副題をつける場合は、主題の下に和英両文で記載する。
- ③表紙には「連絡先」も必ず記載する。

(3) 英文 Summary

- ①論文タイトルの下に、英文の Summary を付す。
- ②Summary は 150 語以内とする。
- ③提出前に、著者の責任において、必ずネイティブ・チェックをしてもらうこと。

(4) キーワード

- ①英文 Summary の後に、当該論文のキーワード(4~5ワード程度)を記す。
(例) 日本的経営、終身雇用、年功序列、企業別組合、コンセンサスによる意思決定

(5) 図および表

- ①図および表はそれぞれ図1、図2および、表1、表2のように通し番号をつけ、その後に図題あるいは表題を記載する。
- ②図番、図題は図の上に、表番、表題は表の上に記載する。

(6) 注の書き方

以下の例に基づいて記載すること。

①注番号のつけ方

- (例) 「-----⁽¹⁾」 → (「 」内の引用全体にかかる場合)
-----⁽²⁾。 → (文全体にかかる場合)
-----⁽³⁾----- → (直前の語句にかかる場合)

論文原稿執筆要領(CFP 版)

②文中で参照文献を注記する場合は、以下のように記すこと。

著者名(発行年) もしくは (著者名:発行年)

(例1) 水谷雅一(1993)は日本の企業倫理について以下のように述べている。

(例2) 日本の企業倫理は ----- と言われている(水谷雅一:1993)。

③注の内容については、次のようにまとめて論文末尾の参考文献の前に記載すること

(Endnote/文末注方式)

注

(1)-----。

(2)-----。

・

・

・

(7)参考文献の書き方

以下の例にしたがって、アルファベット順に並べること。

(例)

参考文献

Cohen, D. (1998). "Moral Climate in Business Firms: A Conceptual Framework for Analysis and Change," *Journal of Business Ethics*, Vol. 17, No.xx, pp. 1211-1226. 【欧文論文の場合、APA方式】

出見世信之(2004)「企業の倫理的行動-コーポレート・ガバナンスとの関係から-」『組織科学』第37巻第4号、33-42頁。【和文論文の場合】

Toffler, B. L. (1986). *Tough Choices: Managers Talk Ethics*, John Wiley & Sons. 【欧文単行本の場合、APA方式】

梅津光弘(2002)『ビジネスの倫理学』丸善 【和文単行本の場合】

2、原稿の校正と編集

(1)完成原稿を提出してください(原稿内容の変更は認められません)。

(2)印刷所から、校正原稿を直接執筆者にお送りします。

(3)著者校正は一回限りとし、著者校正後の訂正は一切許されません。

(4)指定期日以内に印刷所にご返送ください。

以 上